



よしだ たるう 議員
◆ 吉田 太郎



養老の郷づくり会社の今後は

町長 解散前に町出資金の回収を

問 今後の見直しは。

答 養老の郷づくり株式会社は、地域づくりに民間の経営手法やアイデアを最大限に活かすことを目的として設立された会社であり、最後の出資企業の事業中止は、養老の郷づくり株式会社の解散に繋がるものと考えている。



出資企業の建設現場

問 これまでの経緯は。

答 平成27年5月に民間企業2社と養老町が出資し第二セクター方式で設立後、産業や観光の活性化事業に取り組んだが、思うように進展せず、令和2年4月より休業し、令和6年8月に最後の出資企業が事業の中止を決めた。

問 町出資金の対応は。

答 出資した495万円については、養老の郷づくり株式会社が解散する前に全額の回収を図る。

町も出資した養老の郷づくり株式会社だが、令和2年4月から休業、令和6年8月には最後の出資企業が町内事業の中止を決めた。

台風10号の対応は

町長 災害情報把握に努め万全対処

問 派遣依頼した排水ポンプ車の稼働状況と今後の南直江での浸水対策は。



台風10号時 排水機稼働

答 産業建設部主体でパトロールし、被害現場を確認し対応した。消防署と連携し、消防団の協力を得て、随時対応処理に努めた。

問 被害状況の確認と対応策は。

答 名神高速道路アーダーパスの冠水による車両水没1件、建物の床上浸水2件、床下浸水21件、小畑川左岸の橋台部の河川法面崩落、農地の冠水被害、南直江地区の浸水被害。

問 台風10号における被害状況は。

答 南直江に設置した排水施設は約7時間稼働、国に要請した排水ポンプ車は約3時間稼働した。今後、国へのポンプ車の要請は、事前の要請を心掛け早期に対応していく。

気象予測精度が向上しているが、台風10号は日ごとに進路・速度が変化し、東海地方に大きな被害を与える予測が難しかった。

令和6年9月
定例会

こんなことが決まりました 審議した議案とその結果

議案	結果
条例	
養老町福祉医療費助成に関する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町国民健康保険条例の一部改正	賛成多数で可決
予算	
令和6年度養老町一般会計補正予算（第4号）	全員賛成で可決
令和6年度養老町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成で可決
令和6年度養老町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
同意（敬称略）	
教育委員会教育長 早崎 京子（新任） 任期 令和6年10月1日～令和9年9月30日	同意
教育委員会委員 後藤 稔治（再任） 任期 令和6年10月8日～令和10年10月7日	同意

議員の賛否（○賛成、×反対）

養老町国民健康保険条例の一部改正

議員	佐野	大橋	西脇	清水	北倉	岩永	吉田	早崎	野村	松永	水谷
	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	○	×

一般質問

町の考えを問う

7人の
議員が登壇

9月定例会では7人の議員が登壇しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。また、それぞれの議員のQRコードより一般質問の録画放送がご覧頂けます。

質問議員	質問事項	ページ
よしだ たるう 吉田 太郎	◎ 養老の郷づくり会社の今後は ◎ 台風10号の対応は	9
しみず ゆみこ 清水 由美子	◎ マイナ保険証等の詳細は	10
さの しんや 佐野 伸也	◎ こどもまんなか社会の現状は	10
にしわき やすし 西脇 康	◎ 三セク事業の結果への評価は	11
いわなが よしひと 岩永 義仁	◎ 町のハラスメント対策は ○ 町長の政治的立場を確認 ◎ 南直江の排水対策不足は	12
みずたに くみこ 水谷 久美子	◎ 三セク会社の説明責任を ◎ 学校体育館にエアコン設置を ○ 聞こえのバリアフリー環境整備は	13
はやさき ゆりこ 早崎 百合子	◎ 非常時の携帯トイレ等の備蓄は	11

＜注＞○印の内容は編集上掲載しておりません。